

第 1 回・第 2 回検討会の主な意見

- ・ 伐採後の森林の更新については、目標とする森林の形をある程度定めて、シカの食害等を考慮したうえで、植栽も含めて更新の方法を検討する必要がある。
- ・ 解約後の不採算林については、今後も針広混交林化等が図られるような県の施策が必要である。
- ・ 事業地へのアクセスができない等により伐採ができない（入札等が不調となる）事業地について、管理の方向性を決めて対応する必要がある。
- ・ 天然更新を目指すには、林地に光を入れるような方策を考える必要がある。
- ・ 木材の生産については、県産材が他県よりも生産費用が高い状況にあるので、コストダウンを図る必要がある。
- ・ これから伐採面積が増えていく中で、県内の伐採業者が少ないことが計画どおり事業を実施するうえでの重要な課題である。
- ・ 伐採面積の増加にともなって木材供給量が増えていくなかで、I T 等を活用した戦略的な取組を検討すべきであり、加えて県内の加工流通体制の強化等を図り、県内で木材を利用できる環境を整備していく必要がある。
- ・ 伐採方法や回数については、分収造林契約に基づく所有者の意向を考慮する必要がある。

検討会構成

1 公社林の目指す姿について

①採算区分ごとの目指す姿の検討

2 森林整備・管理について

②保育施業基準に基づく保育方法の検討

③保育事業の発注方法の検討

④不採算林における公益的機能保全方法の検討

3 伐採方法の選択について

⑤公社の伐採・搬出方法の検討

⑥公益的機能の発揮に向けた公社の取組の検討

4－1 効率的な木材生産について

⑦経営計画の策定に向けた取組の検討

⑧事業地の調査等の効率化の取組の検討

⑨伐採事業の増加への対応、公社利益向上に向けた発注方法の検討

⑩県内林産業への貢献方法の検討

4－2 木材の伐採・搬出

⑪木材単価の向上と、生産コストの抑制に向けた生産技術の検討

5 木材の有利販売について

⑫販売価格の向上と販売コスト抑制に向けた取組の検討

6 森林の新たな価値の創造について

⑬森林のもつ機能を活用した環境に対する貢献方法の検討

7 分収割合の変更・契約期間の延長・不採算林の解約

⑭分収割合変更・契約期間延長の取組の検討

⑮契約変更が困難な場所における公社林のあり方の検討

⑯不採算林の解約の取組の検討

8 滋賀県の林業成長産業化への貢献について

⑰滋賀県林業に対する貢献度の検討